

『子育て講座』のオンラインお試し講座 2021

開催日	3月27日(土)	4月26日(月)
開催時間	午前9時50～12時 オンライン(ZOOM利用)	
受講費	2000円 (F会員・K会員1000円)	
定員	70名(先着順)	
講師	遠藤英一氏 (絵本と木のおもちゃ専門店 もりの店主)	
申し込み〆切	3月6日(土)	4月5日(月)



お申し込み先 遠藤式子育て理論研究所 <http://kosodachi-riron.com/>
☆子育て講座オンラインお試し講座開催のお知らせ☆より
お申し込み受付中

『子育て講座』について

静岡県富士市に木のおもちゃ中心としたおもちゃと絵本屋を営む「遠藤英一氏」が、長年に渡り「子の自ら育つ力」を研究した理論を講座にしたものです。

子育て講座のオンラインお試し講座・中心となる話は、

- ①子の日課の安定 ②まねと指示 ③リビングに子どもの空間を ④子のありのままを受けとめる

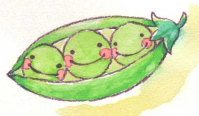
子ども一人ひとりがありのままに自分らしく育つことができるために母親ができることは何でしょうか？

私たち親は子を育てるのではなく「子が自ら育つ」のを見守る、ただそれだけ。

遠藤さんの説く「子育て理論」は田舎にいても、都会にいても、海外にいても、家族(特に母親)がしっかり生活していれば成り立つものです。

情報の多い今の世の中で子ども達との生活はとても困難をとまなうものとなってきています。

遠藤さんが伝えてくれる「子育て」はそんな母親の心の「一本柱」となって支えてくれます。



遠藤さんが25年かけて構築した「子育て理論」の入り口を是非聞きにいらしてください☆

遠藤式子育て理論研究所 代表 東りつ子

Q 本講座は希望者全員参加できますか？

A 申し訳ありません。

本講座は、ワークショップ(オンライン)を行う関係で1グループ8名定員となっております。先着順の受付で、希望者多数の場合は、次回開講までお待ちいただくことになります。

Q 子育て講座受講後に相談や質問ができますか？

A 本講座受講後に、オンラインで子育て講座受講生と交流できる場を設けています。ぜひ、ご活用下さい。

Q 講座の録画を見ることはできますか？

A 申し訳ありません。録画の視聴は、現在行っておりません。

対面での講座を理想としておりますので、できるだけご自身のカメラをオンにしてLiveでの受講をお願いします。あくまでも、対面で行えない為の代替え(オンライン)講座となりますことをご了承下さい。

Q 講座を何度も聞くことができますか？

A 本講座受講後に再度「聴講」という形で講座を受講することができます。詳細はお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先
遠藤式子育て理論研究所

e-mail : kosodachi.riron.ks@gmail.com

H P : kosodachi-riron.com



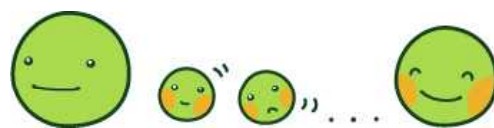
修了生の感想

年間7回の本講座を修了したお母さんたちからの感想です。

必要としている方の元へとどきますように。

子育て講座7回本講座修了生(25年間) 903名 (2021年1月現在)

“ 良い子 ” に育ててもらいたいと思うより、我が子らしく育てて欲しいと思うようになりました。



私もこんな風に育てられたかったです。

遊んであげなきゃいけない、教えなきゃいけない、何かをしてあげなきゃいけないと思っていた私。子育てに出会えてよかった。

子どもは苦手でした。そして、苦手なままでも実践できるのが子育て理論でした。

今日の自分の物語を聴いているときの、子の嬉しそうな表情といたらないです。眠る前の至福の時間です。

子との何でもない日常の繰り返しが愛おしくなりました。

子の真似をして、後ろをついて歩く時間は幸せでした。

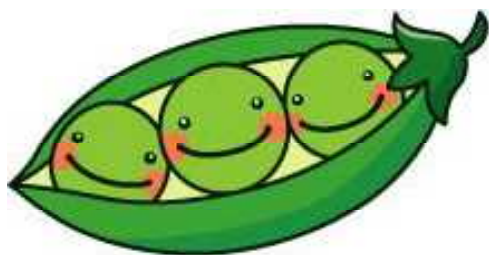
母親と父親の役割が違うことがわかって、夫へのイライラが少なくなりました。今まで読んだり聞いたりしてきた育児論は父親、母親、指導者など、すべての立場がごちゃ混ぜであったように 思います。

子とのやりとりで上手くいかない時、子育てに立ち返るとシンプルな答えが見つけれられてスーッと解決していきます。

子育てを「4つの場面に分ける」という考え方のおかげで、悩んだときにも、自分で答えを導き出せるのがあります。 “ 理論 ” というだけのことはあるな、と思います。

今この瞬間の対症療法ではなくて、21年間を見通せるのがよかったです。母親の仕事には卒業があるとわかって、ほっとしました。今しかできない母親の役割を全うしようと思います。

自由であることや、ありのままであることと、やりたい放題の違いがわかりました。



ありのままを受け止める、とか、生活リズムを整える(子育て理論では日課の安定と呼びますが)とか、よく言われることですが、実際にどうすればいいのかわかりました。